

HSBC ブラジル オープン

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第17期 (決算日2023年3月30日)

作成対象期間

(2022年3月31日～2023年3月30日)

第17期末 (2023年3月30日)	
基準価額	6,210円
純資産総額	17,791百万円
第17期	
騰落率	△ 20.6%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社のHP(ホームページ)で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」の一覧の最新の運用報告書(全体版)を選択すると、当該運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。
※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ブラジル オープン」は2023年3月30日に第17期の決算を行いました。

当ファンドは、「HSBC ブラジル マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジル連邦共和国(以下、「ブラジル」といいます。)の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

«お問い合わせ先(投信営業本部)»

電話番号: 03-3548-5690

(営業日の午前9時～午後5時)

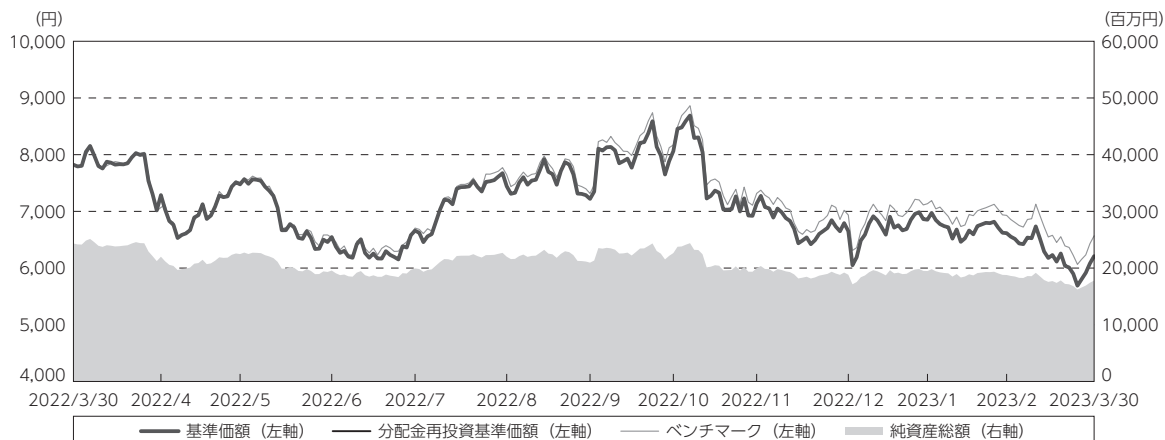
ホームページ: www.assetmanagement.hsbc.co.jp



◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第17期：2022年3月31日～2023年3月30日)



期 首： 7,822円

期 末： 6,210円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 20.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首(2022年3月30日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドのベンチマークは、MSCI ブラジル10/40指数(円ベース)です。ベンチマークの詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入上位に維持した資本財のウェグなどの株価が大幅に上昇し、基準価額にプラスに寄与しました。

<下落要因>

組入上位に維持したブラデスコ銀行、各種金融のB3などの株価が大幅に下落し、基準価額にマイナスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	149 円	2.090 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(86)	(1.210)	委託した資金の運用の対価(運用委託先への報酬が含まれます。)
(販 売 会 社)	(55)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(8)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.050	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.049)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.001)	
(c) そ の 他 費 用	13	0.179	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(12)	(0.163)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(1)	(0.011)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	166	2.319	
期中の平均基準価額は、7,145円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

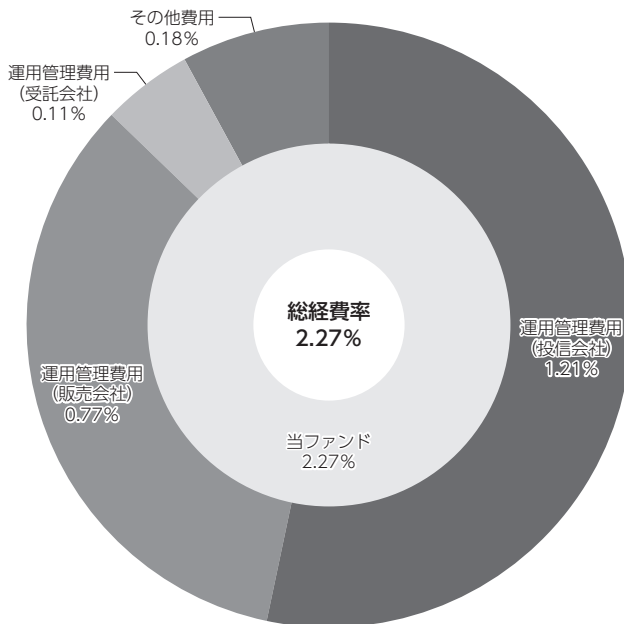
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.27%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

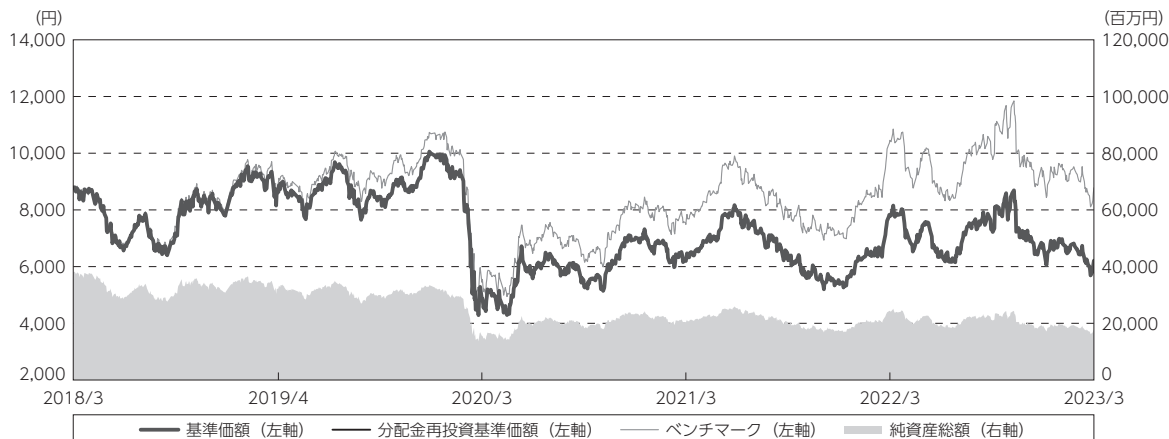
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2018年3月30日～2023年3月30日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2018年3月30日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年3月30日 決算日	2019年4月1日 決算日	2020年3月30日 決算日	2021年3月30日 決算日	2022年3月30日 決算日	2023年3月30日 決算日
基準価額 (円)	8,793	8,631	4,870	6,197	7,822	6,210
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 1.8	△ 43.6	27.2	26.2	△ 20.6
ベンチマーク騰落率 (%)	—	2.0	△ 39.2	37.4	39.6	△ 16.0
純資産総額 (百万円)	38,100	32,318	15,560	20,311	24,331	17,791

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドのベンチマークは、MSCIブラジル10/40指数(円ベース)です。

投資環境について

【株式市況】

当期のブラジル株式市場は、ボブスパ指数が前期末比で15.2%下落しました。株式市場は期初から2022年7月中旬までは国内の高インフレ、米国の積極的な利上げ観測の強まりを背景に下落傾向となりました。その後、国内のインフレ懸念の緩和などに伴い10月中旬にかけては途中上下動を見せながらも上昇傾向に転じたものの、ルラ次期大統領（当時）の財政政策を巡る根強い不透明感から12月中旬にかけて再び下落傾向となりました。2023年1月下旬にかけては主要輸出国である中国の景気回復への期待の高まりにより上昇傾向に転じましたが、期末にかけてはルラ大統領による中央銀行への度重なる批判、欧米を中心とした銀行不安などを背景に下落傾向となりました。

【為替相場】

当期のブラジルリアルは対円において前期末比で2.0%上昇しました。ブラジルリアルの対円相場は期初から2022年7月下旬まで一定範囲内で推移したのち、国内インフレ率の落ち着きなどを背景に11月上旬にかけて途中上下動を見せながらも上昇傾向に転じました。その後、ブラジルリアルは対円でルラ次期大統領（当時）の財政政策を巡る根強い不透明感などに伴い2023年1月初旬にかけて下落傾向となったものの、期末にかけては一定範囲内で推移しました。

(注) 原則として、指数の騰落率は期首・期末の前営業日の数値を、為替レートの騰落率は期首・期末の数値をもとに算出しています。

ポートフォリオについて

<HSBC ブラジル オープン>

「HSBC ブラジル マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの株式等に投資しました。

<HSBC ブラジル マザーファンド>

銀行のイタウ・ユニバンク・ホールディング、公益事業のブラジル中央電力、素材のスザノなどの組入比率をベンチマークに対してオーバーウェイトに維持しました。

ベンチマークとの差異について

当期の当ファンドの基準価額は、分配金再投資ベースで20.6%の下落となり、ベンチマークの騰落率（-16.0%）を下回りました。

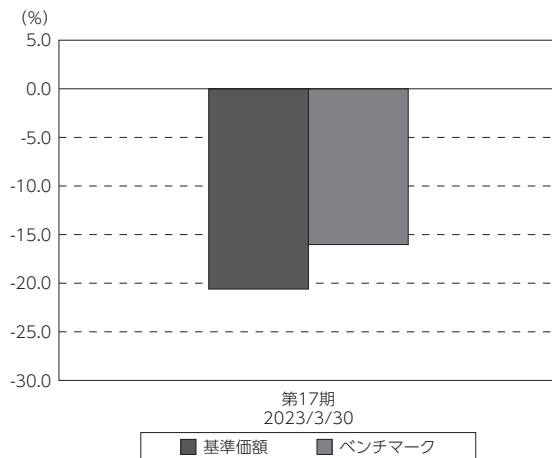
<プラス要因>

アンダーウェイトにしていた小売り大手のアメリカナスが会社更生手続きの申請を発表したことで株価が大幅に下落し、プラス寄与となりました。また長期的な成長を見込みオーバーウェイトにしていた、小売業界で南米市場向けのオンライン取引ウェブサイトを運営のメルカドリブレが市場シェアを拡大させたことに加え、厳しい価格競争が落ち着いてきたことなどから株価が上昇、さらにオーバーウェイトにしていた資本財のウェグが電化や再生可能エネルギーの導入拡大等の長期的なグローバルトレンドの影響を受けて株価が上昇し、各々、特にプラス寄与となりました。

<マイナス要因>

オーバーウェイトにしていたヘルスケア機器・サービスのハプビダ・パルティシパソエスが低価格設定、原材料価格の高騰、新型コロナウイルス感染拡大等による逆風などから、また同じくオーバーウェイトにしていたヘルスケア機器・サービスのレダ・ディオール・サン・ルイズがヘルスケア業界の収益性の悪化、同社による価格決定力の低下などから、各々、株価が大幅に下落し、マイナス寄与となりました。さらにアンダーウェイトにしていたエネルギーのペトロ・リオが生産性の向上やコスト削減などにより力強い利益成長を実現したことで株価が上昇し、特にマイナス寄与となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。
 (注) 当ファンドのベンチマークは、MSCI ブラジル10/40指数（円ベース）です。

分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向などを勘案し、分配なしとさせていただきます。
 なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第17期
	2022年3月31日～ 2023年3月30日
当期分配金 (対基準価額比率)	- -%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	3,730

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針◆

ブラジル政府は、2023年3月、2024年に基礎的財政収支（ある年に必要になる社会保障などの政策経費について、その年の税収などでどの程度賄えているかを示す指標）の均衡を目指すとの目標を示しました。具体的には、基礎的財政収支は2023年には国内総生産（GDP）対比で0.5%の赤字、2024年には均衡、2025年には0.5%の黒字、2026年には1%の黒字を目指すとしています。同時に、無秩序な歳出拡大を阻止するため、歳入の増加額の7割を歳出増の上限とする規則を導入する見通しです。今回の政府案は「財政の持続可能性」を勘案したものと思われ、これは市場の信認にもつながると考えられます。この政府案の実施には議会の承認が必要となり、今後の動向が注目されます。一方、政府は増税により歳入増を図る模様であり、仮に企業に対する各種税制優遇措置が撤廃されれば、企業の利益成長に影響が及ぶ可能性があることには留意が必要です。

中長期的視点で見ると、主要輸出国である中国の経済活動再開を背景に同国向け輸出増加が期待され、ブラジルの経済ひいては株式市場にとりプラスに働くと思われれます。加えて、バリュエーションも魅力的な水準にあり、また国内インフレ圧力の低下を背景に今後金融緩和政策が見込まれることから、ブラジル株式は引き続き魅力的な投資対象市場であると考えます。

<HSBC ブラジル オープン>

「HSBC ブラジル マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<HSBC ブラジル マザーファンド>

収益性とバリュエーションの両面で妙味がある銘柄を選好しています。セクター別には、eコマース市場において長期的な成長が見込まれる上述のメルカドリブレを含む一般消費財、中国の経済活動の再開と商品価格上昇による恩恵や政府による新型コロナウイルスに対する規制緩和等が追い風となると考えられる素材、長期的な成長が期待できるヘルスケアなどをオーバーウェイトに維持する一方、原油価格が高騰しているにもかかわらず配当方針等が不確実なエネルギー、食品価格上昇の減速、高金利環境の長期化、競争の激化等により利益成長が厳しいと考えられる生活必需品などをアンダーウェイトとしています。

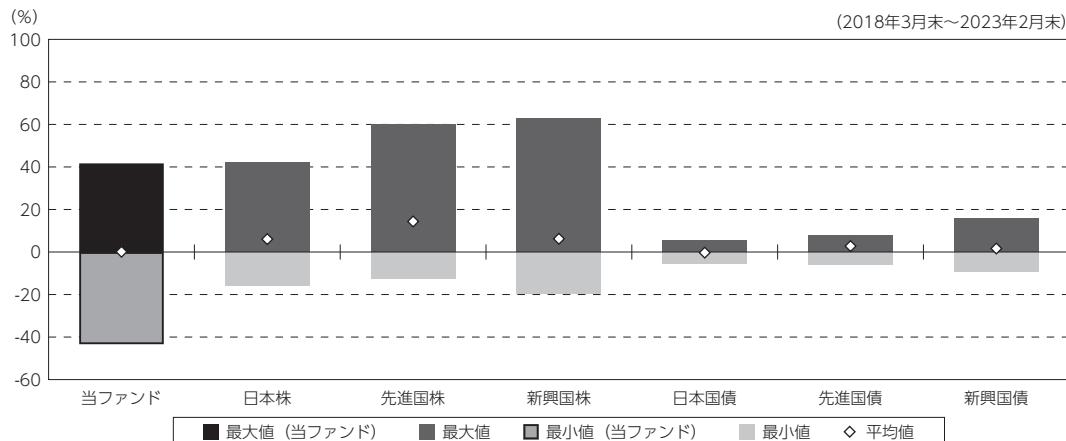
◆お知らせ◆

ありません。

◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	HSBC ブラジル マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にブラジルの株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	HSBC ブラジル オープン	HSBC ブラジル マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC ブラジル マザーファンド	主にブラジルの証券取引所に上場している株式等に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・株式の実質組入比率は、原則として高位に維持します。 ・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ・MSCI ブラジル10/40指数（円ベース）をベンチマークとして、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果を目指します。 	
分配方針	<p>年1回の決算時（毎年3月30日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	41.7	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 43.4	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	0.1	6.1	14.4	6.2	△ 0.3	2.8	1.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年3月から2023年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

◆当ファンドのデータ◆

(2023年3月30日現在)

当ファンドの組入資産の内容

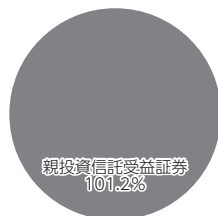
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第17期末
H S B C ブラジル マザーファンド	% 101.2
組入銘柄数	1銘柄

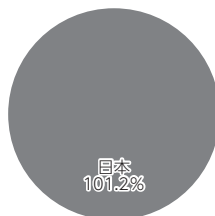
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

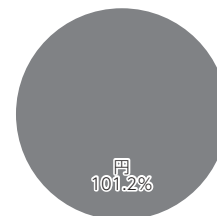
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

○純資産等

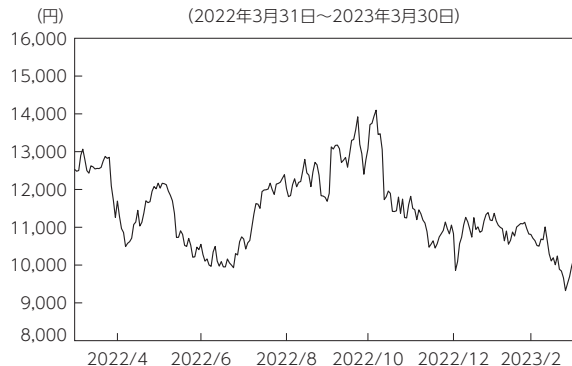
項 目	第17期末
	2023年3月30日
純 資 産 総 額	17,791,901,033円
受 益 権 総 口 数	28,651,485,825口
1万口当たり基準価額	6,210円

(注) 期中における追加設定元本額は3,232,185,770円、同解約元本額は5,687,359,889円です。

組入上位ファンドの概要

◆HSBC ブラジル マザーファンド (計算期間 2022年3月31日～2023年3月30日)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2022年3月31日～2023年3月30日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	6 (6) (0)	0.049 (0.048) (0.001)
(b) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	19 (19) (0)	0.162 (0.162) (0.000)
合 計	25	0.211

期中の平均基準価額は、11,557円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

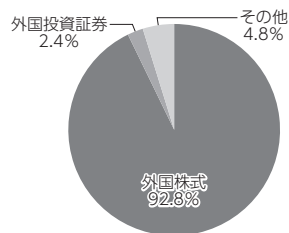
○組入上位10銘柄

(2023年3月30日現在)

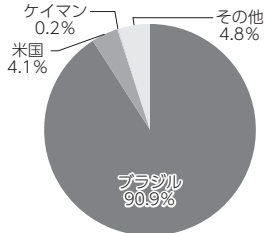
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	ITAU UNIBANCO HOLDING SA	銀行	ブラジルリアル	ブラジル	9.1%
2	VALE SA	素材	ブラジルリアル	ブラジル	8.0
3	WEG SA	資本財	ブラジルリアル	ブラジル	6.8
4	PETROBRAS PN	エネルギー	ブラジルリアル	ブラジル	5.8
5	AMBEV SA	食品・飲料・タバコ	ブラジルリアル	ブラジル	4.4
6	BANCO BRADESCO SA-PREF	銀行	ブラジルリアル	ブラジル	4.4
7	LOCALIZA RENT A CAR	運輸	ブラジルリアル	ブラジル	4.3
8	SUZANO S.A.	素材	ブラジルリアル	ブラジル	4.1
9	B3 SA-BRAS IL BOLSA BALCAO	金融サービス	ブラジルリアル	ブラジル	4.0
10	BANCO BTG PACTUAL SA-UNIT	金融サービス	ブラジルリアル	ブラジル	3.7
組入銘柄数			38銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

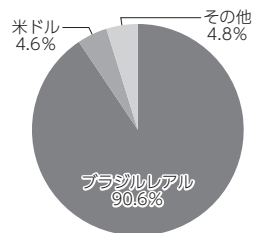
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

◆指数に関して◆

＜当ファンドのベンチマークについて＞

ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、『MSCI ブラジル10/40指数（円ベース）』です。MSCI ブラジル10/40指数とは、ブラジルの証券取引所に上場する企業を対象とした一般的な指数であるMSCI ブラジル指数に対し、投資信託に合わせた調整（一銘柄の構成比率の上限を10%にする、かつ5%を超える銘柄グループの合計の上限を40%にする等）を加えた浮動株調整後時価総額加重平均を算出した指数をいいます。なお、当該指数は、MSCI社（MSCI Inc.）が開発、計算する指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託会社が円換算した数値を使用しています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

○MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。